

せるさいくる



第36号
2023年1月16日
北海道細胞検査士会発行
発行責任者 椎名 真一
会 長 藤岡 学

北海道細胞検査士会会報

年頭のあいさつ

北海道細胞検査士会 会長
札幌徳洲会病院 藤岡 学

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、期待と希望に満ち溢れた新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃からの皆様のご理解とご協力によりスムーズな北海道細胞検査士会運営に微力ながら尽くすことができましたことを深く心から感謝申し上げます。

2022 年は、依然変わらないコロナ禍の状況でありましたが、細胞診講習会①と細胞診講習会②、また第 42 回北海道臨床細胞学会総会並びに学術集会を、3 年振りに対面での開催をすることができ多くの会員の皆様に参加していただいたことを、深く感謝申し上げます。各地区会の活動も、勉強会などを web 開催するなど、ご尽力いただき感謝申し上げます。この 3 年間、学会や勉強会などの開催が、web 開催が主流となり、慣れと便利さを感じるころではありますが、やはり対面での開催で、皆様と顔を合わせ、会話をすることの大切さを実感しております。これから予定している「わかばセミナー」は現地開催を前提にしておりますが、状況によっては web のみでの開催も考えています。「細胞診従事者講習会」は現地開催に向けて準備をしております。わかばセミナーは、神奈川県立がんセンターの仲村武技師の講師で、豊富な経験と知識から細胞の見方などを、講演していただきます。2 年間開催することが出来なかったこともあり、仲村技師も皆様にお会いできることを大変楽しみにしておりますので、新しく細胞検査士になられた方は勿論のこと、細胞検査士を目指す方、熟練された細胞検査士の皆様も含め多くの皆様に参加していただきたいと存じます。また、2020 年に 50 周年を迎えた北海道細胞検査士会ですが、多くの皆様のご協力とご尽力により 50 周年記念誌を発刊することができましたことを心から感謝申し上げます。

本年も役員一同、スムーズな会の運営と会員の皆様にとって充実した 1 年になりますよう状況を踏まえて活動して参りますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。また、新たに細胞検査士になられた方、職場変更や退会(物故会員含む)される会員の皆様は、北海道臨床細胞学会への入会・変更・退会申請をお願い致します。北海道細胞検査士会のメーリングリストへの登録されていない会員がおりましたら、是非登録をお願い致します。

★ メーリングリストへの登録のお願い

会員への情報伝達手段の一つとしてメーリングリストを開設し、北海道臨床細胞学会や北海道細胞検査士会からの情報配信に利用しています。未登録の方々はご参加をお願い致します。

メーリングリストへ登録をして頂ける方は、

- ① メーリングリスト管理者(徳永 y1tokuna@d9.dion.ne.jp)までメールをお願い致します。
【本文】には、所属地区、施設名、お名前を記載してメールの送信をお願い致します。
- ② 管理者が登録をしたら、“登録完了メール”が配信されます。



* 講習会の詳細な内容や申し込み方法等は、北海道細胞検査士会ホームページ 又はメーリングリストにて随時ご案内しております。

検査 de フェスティバル参加報告

2022年10月23日(日曜日)札幌地下歩行空間にて、札幌臨床検査技師会主催の『検査 de フェスティバル』が3年ぶりに対面で開催されました。北海道細胞検査士会は、共催というかたちで、『がん検診啓発: LOVE49』コーナーを担当させていただきました。コロナ禍で、感染者も増加傾向だったことも考慮し、北海道細胞検査士会6役と協力者数名の少人数での参加となりましたが、子宮頸癌の細胞像や疫学・検診の重要性等のリーフレットを掲示すると共に、検査 de フェスティバル参加者には、子宮がん検診のリーフレットを250部配布させていただきました。近年、若年の子宮頸がんの罹患率は増加傾向であり、若年の女性の方に比較的多くリーフレットを配布する事が出来、少しでもがん検診を受診していただくきっかけになっていただければと思いました。来年度も、がん啓発活動は継続していく予定です。引き続き会員の皆様には、啓発活動への参加・御協力をお願い致します。



第42回北海道臨床細胞学会総会並びに学術集会

2022年12月4日(日曜日)北海道大学病院臨床大講堂にて、3年ぶりに対面による現地開催となりました。200名以上の参加者のもと学術集会が盛大に開催されました。



一般演題は、9演題で症例報告や種々の検討に対する発表がありました。特別講演では、岩手医科大学病理診断学講座 菅井 学教授による『胃癌における組織像と分子異常の関連性』と題して、実際の症例を交えて胃癌の多彩な組織像や病理学的特徴と分子異常との関連性についてわかりやすく解説していただきました。例年は、顕微鏡で実際にスライドガラスを観察して投票していただく形式で行っていた症例検討を、コロナ禍を考慮しWSIでの症例提示を行う初の試みで、5つの領域からの『臓器横断シンポジウム』として行われました。症例提示は、Web環境下で細胞像を観察していただき、Web投票を行っていただきました。典型的な症例から日常では遭遇する頻度の低い症例等様々な症例が提示され、細胞像の観察すべきポイントを中心に解説していただき、大変有益な内容だったと思います。

★ 2022年度 北海道細胞検査士会 活動報告

◎ 総務関係

- 1) 会報発行 : せるさいくる発行 2023年1月に発行(本号)
- 2) ホームページ事業 : ホームページの適宜更新

◎ 学術関係

- 1) 第29回プレパラートサーベイ(体腔液とセルブロック)の実施(現在回覧中)
- 2) 第30回プレパラートサーベイ(消化器)の実施(現在回覧中)
- 3) 細胞検査士会模擬試験講習会① 10月2日 札幌医科大学 D101 講義室 参加者:27名
細胞検査士会模擬試験講習会② 11月6日 札幌医科大学組織学実習室 参加者:21名

◎ 今後の予定

北海道 : わかばセミナー 2月11日(土曜日) 札幌医科大学教育研究棟 D101 講義室
細胞診従事者講習会 3月12日(日曜日) 札幌医科大学臨床大講堂

全国 : 第64回日本臨床細胞学会総会春期大会 2023年6月9日~6月11日 愛知県
第62回日本臨床細胞学会秋期大会 2023年11月4日~11月5日 福岡県
第65回日本臨床細胞学会総会春期大会 2024年6月7日~6月9日 大阪府
第63回日本臨床細胞学会秋期大会 2024年11月16日~11月17日(予定) 千葉県

学会見聞録

『第 61 回日本臨床細胞学会秋期大会に参加して』

国立病院機構 函館病院 赤川 まい

11月5日6日の2日間、仙台サンプラザホテル・ホール、ホテルガーデンパレスにて開催された標記学会へ参加して来ました。細胞学会への参加は今回が初めてだったため、どんな雰囲気なのか楽しみでもあり、一般演題(示説)発表も兼ねていたため少し緊張していました。コロナ禍という事で、現地開催と Web 配信のハイブリッドで行われましたが、会場は想像より大勢の参加者の方で賑わっており、これが全国学会かと圧倒されました。学会では聴きたい講演が沢山ありましたが、中でも興味深かった講演内容を簡単ではありますが紹介させていただきます。

〈シンポジウム: EUS-FNA の役割や ROSE の有用性・診断時のピットホールについて〉

ROSE を実施しているかは、施設間によって差があるようでした。実施している施設では、組織生検が十分に採取されているか細胞検査士にその場で判定してもらう事で、診断に有用かつ採取出来ている安心感も得られるという事でした。

〈教育講演: 見やすい細胞診標本作製のための検体処理法〉

捺印標本は挫滅防止のため強く押しすぎない、液状検体は遠心後のデカント時に余分な上清をしっかりとることで、塗抹時に細胞がガラスに載りやすくなる。いつも行っている事ですが、良質な標本作製することが診断に直結し重要である事を再確認できました。

〈シンポジウム: 肺癌バイオマーカー検索における細胞診の活用〉

細胞診検体でも NGS 解析は可能であるかという内容でした。細胞診検体のメリットとしては、侵襲性が少なく全ての患者で採取可能、固定に時間がかからず高感度の検査が可能であるということでした。解析成功率は6割、マルチ PCR パネルは90%程度との報告でしたが、正常細胞も加わっているので信用性は低く、可能であれば組織検体で検査を行う方が良いとの事でした。

様々な講演を聴いているうちに、あっという間に自分の示説発表の担当時間がきてしまいました。発表は自由討論であり緊張しましたが、道外の他施設の方々とお話ができる良い機会が得られ、貴重な時間を過ごすことが出来ました。これも全国学会ならではの身に染みて感じました。学会を通し様々な知識・経験を得ることができました。学んできたことを臨床現場で生かし、常に新しい情報を収集しこれからも精進していきたいと思えます。



* 昨年末に実施された、第 55 回細胞検査士資格認定試験で、合格された方が施設にいらっしゃいましたらお手数ですが、椎名(soccer.com.57118@gmail.com)までご連絡をお願い致します。

〈編集後記〉

COVID-19 感染症が流行してもう3年が経ちました。With コロナに対応して仕事や生活スタイルが少しずつコロナ流行前に戻ろうとしていますが、なかなか医療業界で働く私たちの環境は変わっていないのが現状でしょうか？それに加えインフルエンザが徐々に流行し始めてきおり日常業務が更に忙しくなる可能性があります。まだまだ落ち着きそうにありませんが、感染対策をしつつ、日々のストレスに負けないよう、趣味などでリフレッシュして With コロナ時代を乗り切りましょう。去年はサッカーのワールドカップ、放送時間が夜中や早朝の時間帯で睡眠不足になりましたが、日本中『ブラボー』で盛り上がりましたね。3月には日本ハムファイターズが北広島の新球場で開幕戦を戦います。一度は新球場で観戦してみたいものです。

細胞検査士会の事業も少しずつ、対面での開催が増えてきており、皆様にお会いできることをうれしく思います。引き続き、従事者講習会等の事業が控えておりますので、皆様の積極的な参加をお願い致します。

今後も、研修会等の情報を積極的にホームページやメーリングリストを活用し、会員の皆様に随時お伝えできればと思っております。今後も皆様のご支援と、会の活動にご協力をお願い致します。(総務 椎名)